

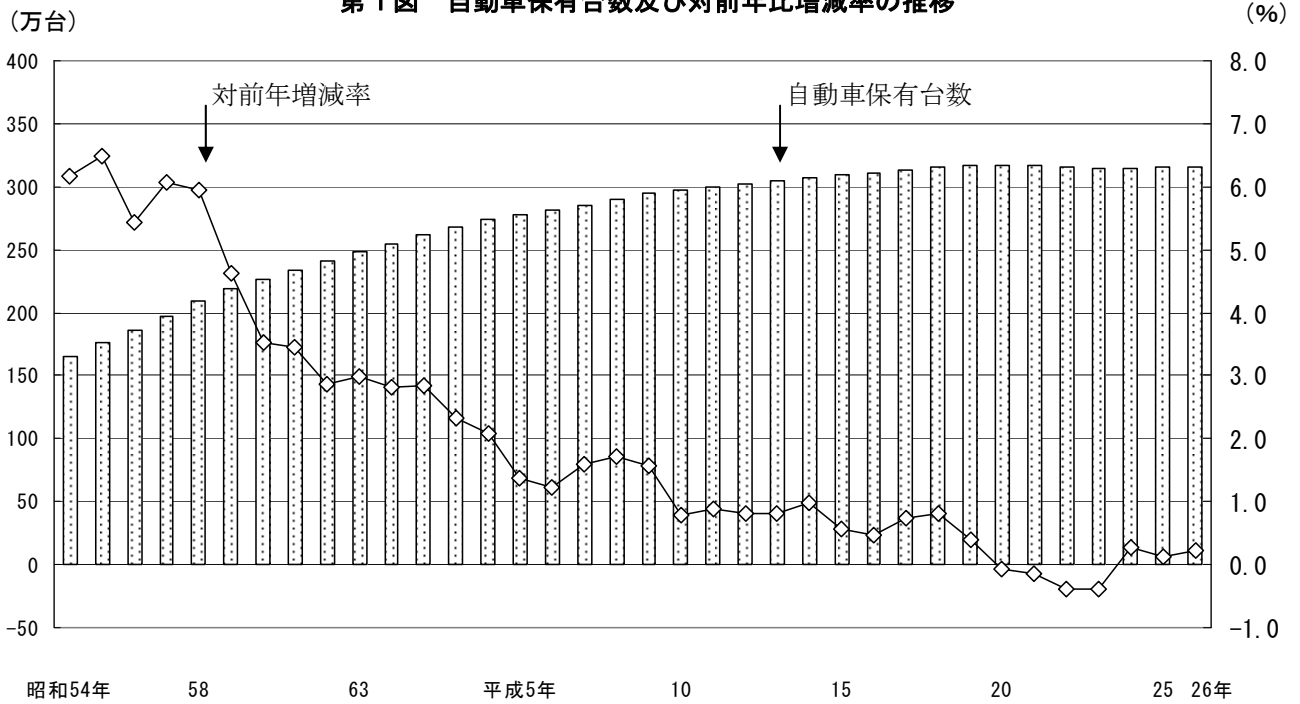
# 平成 26 年静岡県 の自動車保有台数調査結果の概要

## 1 自動車保有台数

(1) 自動車保有台数は 3,158,352 台で 3 年連続の増加

平成 26 年 4 月 1 日現在の県内の自動車保有台数は、3,158,352 台で、前年同月 3,151,193 台と比べ 7,159 台 (0.2%) 増加した。平成 24 年から 3 年連続の増加となった。

第 1 図 自動車保有台数及び対前年比増減率の推移

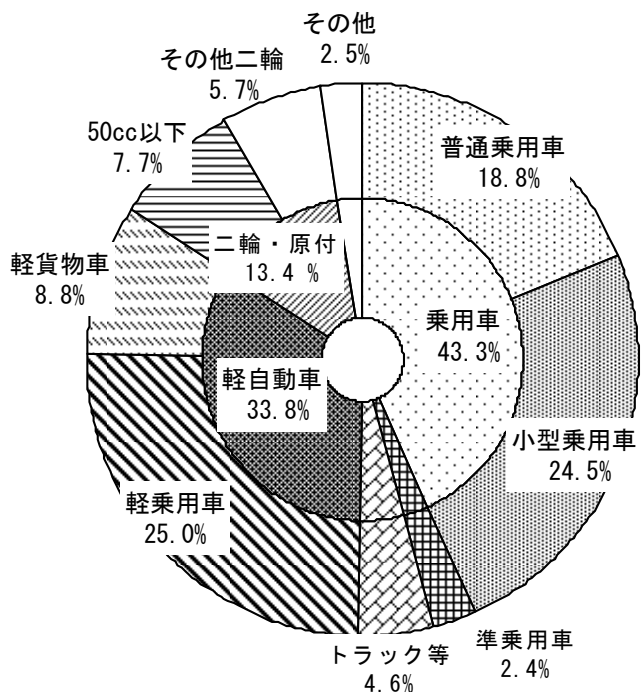


## 2 車種別自動車保有台数

(1) 車種別では全体の 43.3% が乗用車

車種別構成比の内訳をみると、乗用車が 43.3% (普通乗用車 18.8%、小型乗用車 24.5%) を占め、次いで軽自動車 33.8% (軽乗用車 25.0%、軽貨物車 8.8%)、二輪・原付 13.4% (50cc 以下 7.7%、その他二輪 5.7%)、トラック等 4.6%、準乗用車 (貨客兼用小型自動車等) 2.4% などとなっている。

第 2 図 車種別構成比

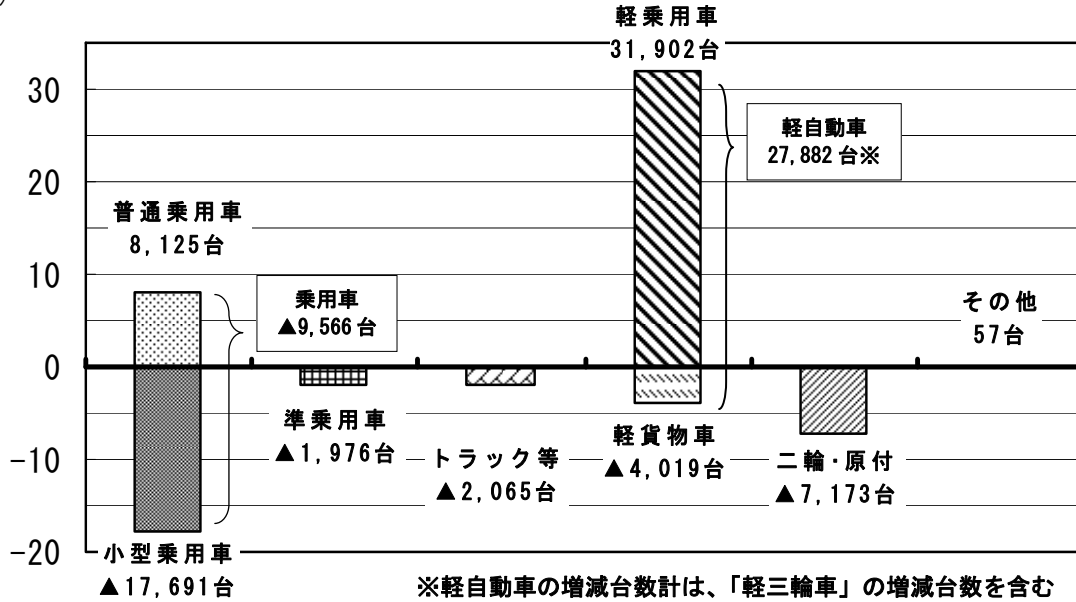


(2) 乗用車は2年連続の減少

車種別に前年と比較すると、普通乗用車は8,125台の増加、小型乗用車は17,691台の減少により、乗用車は9,566台の減少となった。軽自動車は27,882台の増加となっている。

第3図 車種別対前年増減台数の状況

(千台)

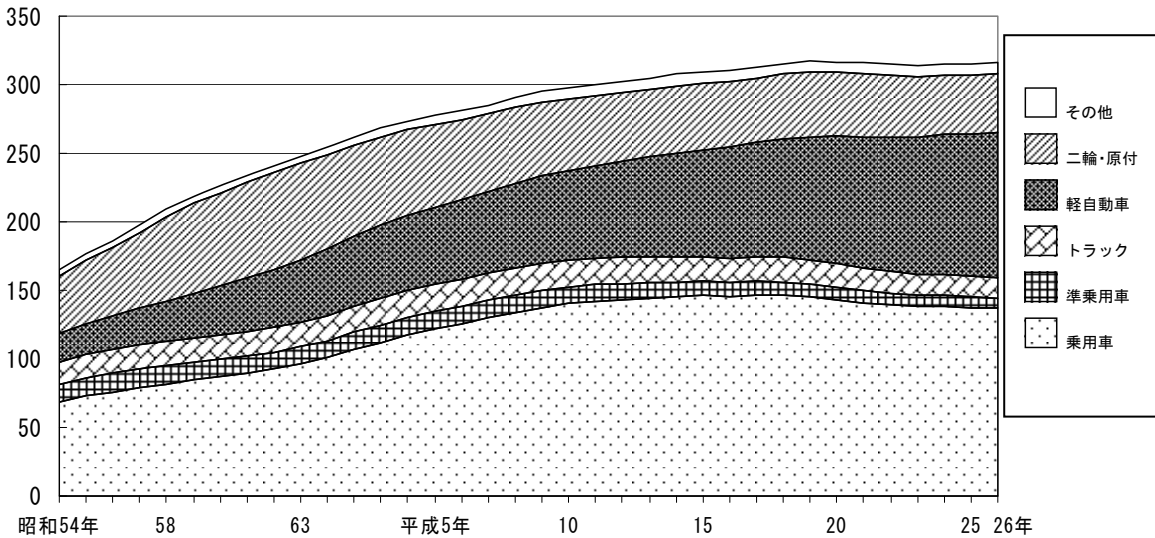


(3) 軽自動車は37年連続の増加

車種別の推移を長期的にみると、軽自動車は、昭和53年から37年連続で増加しており、平成26年の保有台数は、27,882台増の1,068,390台となった。また、乗用車は昨年から2年連続の減少となっている。

第4図 車種別保有台数の推移

(万台)

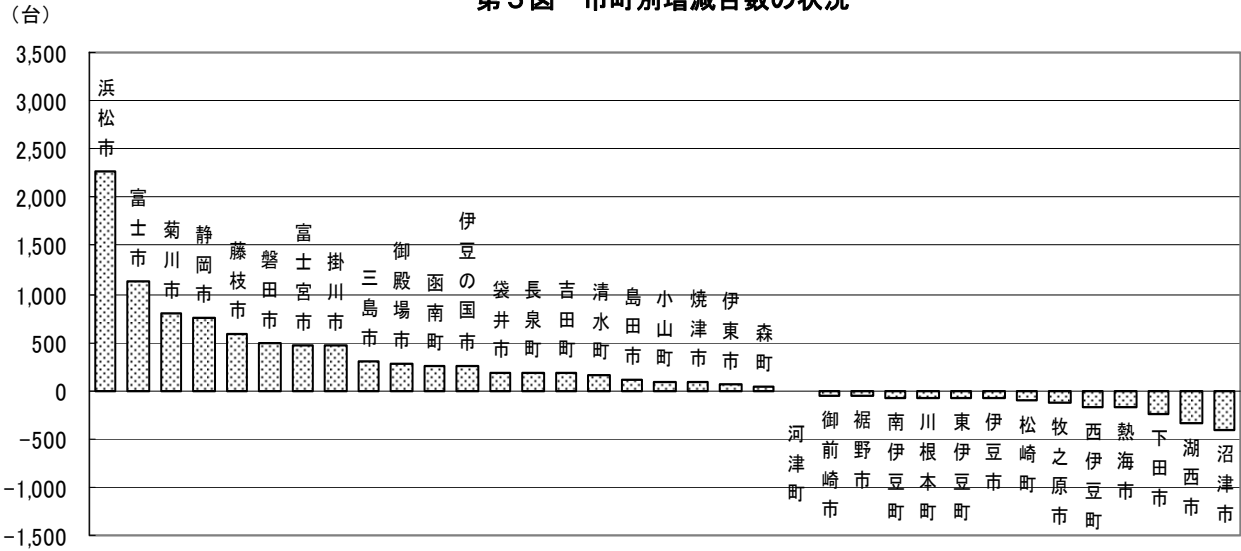


### 3 市町別自動車保有台数

#### (1) 21 市町が前年より増加、14 市町が前年より減少

市町別の自動車保有台数をみると、21 市町が前年より増加し、14 市町が前年より減少した。自動車保有台数が増加した市町は、浜松市 2,273 台(対前年比 0.3%)、富士市 1,132 台(同 0.5%)、菊川市 808 台(同 1.9%) など、減少した市町は、沼津市▲414 台(同▲0.2%)、湖西市▲337 台(同▲0.7%) などである。

第 5 図 市町別増減台数の状況



### 4 自家用乗用車の状況

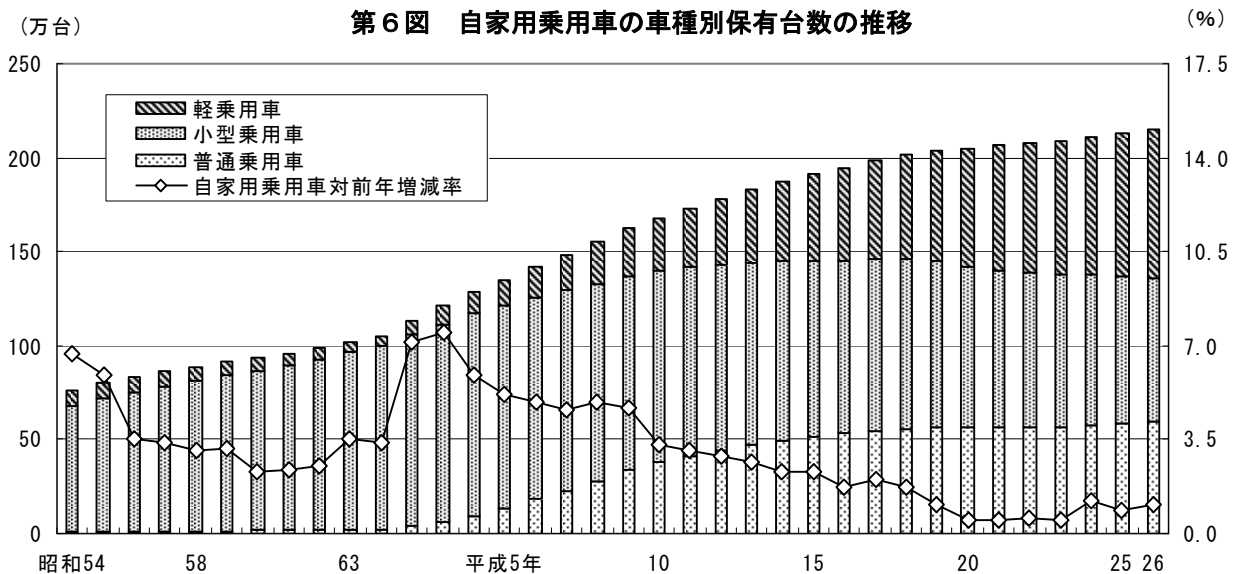
#### (1) 自家用乗用車は前年に比べ 1.1%の増加

自動車保有台数のうち、自家用乗用車（普通乗用車、小型乗用車のうち自家用のもの、及び軽乗用車）は 2,150,029 台で、自動車全体の 68.1%を占めている。これを前年 2,127,621 台と比べると 22,408 台（1.1%）の増加となっている。

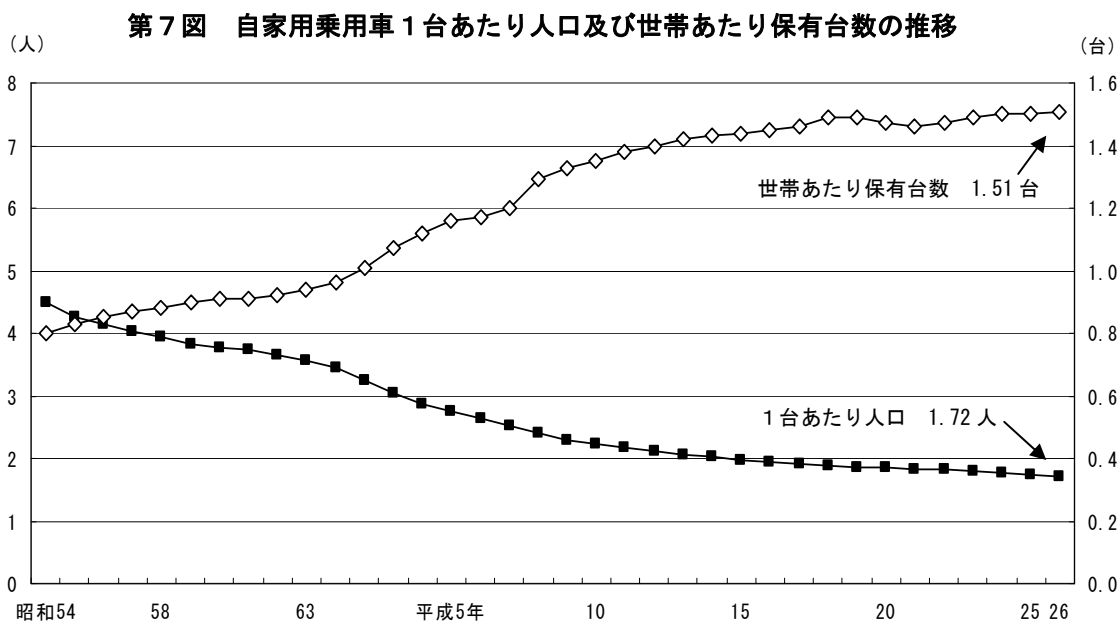
#### (2) 自家用の軽乗用車は、25 年連続の増加

自家用乗用車の内訳を長期的にみると、軽乗用車は平成 2 年から一貫して増加し、小型乗用車は平成 5 年をピークに減少を続けている。なお、普通乗用車は、平成 21 年に調査開始以降初めて減少したが、平成 22 年以降再び増加傾向を示している。

第 6 図 自家用乗用車の車種別保有台数の推移



- (3) 自家用乗用車1台あたり人口は減少、1世帯あたりの自家用車保有台数はわずかに増加  
 自家用乗用車1台あたりの人口は1.72人で、前年に比べ0.03人減少した。  
 また、自家用乗用車の1世帯あたり保有台数は1.51台で前年に比べ0.01台増加した。



## 5 電気自動車等自動車保有台数

- (1) 全体に占める割合は4.0%、乗用車に占める割合は9.3%  
 県全体で見ると、電気自動車等が全車種に占める割合は4.0%となった。乗用車のみでは9.3%となっている。
- (2) 上位3市が県全体の5割を占める  
 市町別に電気自動車等自動車保有台数をみると、浜松市 28,256 台、静岡市 27,822 台及び富士市 7,625 台の上位3市の合計台数が県全体（126,841 台）の5割を占めている。

